

News Letter



文部科学省科学技術人材育成費補助事業
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)
YAMANASHI NETWORK
FOR DIVERSITY & INNOVATION

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)



Vol. 7 2022年6月発行

お知らせ | ダイバーシティマネジメント研修会を開催します

令和4年度ダイバーシティマネジメント研修会を開催いたします。講師に、株式会社佐々木常夫マネージメント・リサーチ代表の佐々木 常夫 氏をお迎えし、メンター制度とマネジメントについてご講演いただきます。

ぜひご参加ください。

日時: 令和4年7月14日(木) 14:00~15:30

場所: 山梨大学大村智記念学術館 大村記念ホール (Zoom同時配信)

対象: 山梨大学および山梨県立大学の教職員、

シミックグループおよび株式会社はくばくの社員

講師: 佐々木 常夫 氏(株式会社佐々木常夫マネージメント・リサーチ代表)

演題: 「組織として成果をあげるためのメンター制度とマネジメント」

申込: 申込フォームより事前にお申込みください

(<https://forms.office.com/r/4N7Eiib6jR>) ※締切 7月13日(水)



お知らせ | 復帰支援制度および論文投稿費と英文校閲費支援制度の利用者を募集します(※山梨大学限定)

「女性研究者に対する産休・育休からの復帰支援制度」

この制度は、出産・育児によって研究活動を中断した研究者が、職場復帰を果たし、研究の停滞を取り戻すことを促進するために、復帰後における研究活動及びそれに伴う経済的負担に対して支援することを目的とするものです。

【支援対象者】

本学に在職する研究者のうち、教授・准教授・講師・助教の職位にある者で、産後の特別休暇または育児休業から職場復帰して2年以内の者。

【助成の対象】

支援対象者が実施する研究活動に係る経費(物品費、旅費、謝金)。

【助成額等】

上限10万円。ただし、予算の状況により助成額が減額される場合があります。

【申請の方法】

男女共同参画推進室HPをご参照ください。
(<https://danjo.yamanashi.ac.jp/3616>)

【募集期間】

令和4年4月~9月(前期)随時

【助成金の執行可能期間】

令和4年4月~令和5年2月末日



「女性研究者に対する論文投稿費と英文校閲費支援制度」

この制度は、ライフイベントにより研究活動が停滞した女性研究者の論文作成に伴う経済的負担の支援を行うことを目的とするものです。

【支援対象者】

- 本学に在職する研究者のうち、次の各号を満たす者。
- (1) ライフイベント中、もしくはこれに相当すると男女共同参画推進室長が認める者。
 - (2) 上記(1)の条件を満たす研究者で筆頭著者として論文を作成する者。

【助成額等】

論文1編あたり上限5万円とし、助成金の用途は論文投稿費(英文校閲費を含む)とします。なお、一人が応募できる件数は半期につき1件までとします。

【申請の方法】

男女共同参画推進室HPをご参照ください。
(<https://danjo.yamanashi.ac.jp/3617>)

【募集期間】

令和4年4月~9月(前期)随時

【助成金の執行可能期間】

令和4年4月~令和5年2月末日

*男女共同参画推進室ではライフイベントを以下のように定義します。
ライフイベント…妊娠、出産、育児(小学校卒業までの子の養育)、介護(2週間以上の期間にわたり日常生活を営むのに支障がある家族の生活支援や世話)を指します。

ご報告

ダイバーシティ研究環境 実現イニシアティブ(牽引型) 令和2～3年度事業報告書を発行しました

令和4年3月、文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型) 令和2～3年度事業報告書を発行いたしました。

本事業は令和2年度に採択され、山梨大学、シミックホールディングス株式会社、株式会社はくばくの三機関が連携し、地域のダイバーシティ環境の牽引を目指した各種の取り組みを進めてきました。

本報告書には、令和3年度までの2年間の取組内容の報告を掲載しております。HPでも公開しておりますので、ご高覧いただけますと幸いです。(https://diver-danjo.yamanashi.ac.jp/728)



ご報告

第5回Coの花支援を実施しました

山梨大学では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響でアルバイト収入の減少など経済的に困窮する本学女子学生に、生理用品を配布しました。本事業は、経済的負担軽減を図り、女子学生の快適な暮らしを守ることを目的に実施したものです。

第5回目となる今回は、5月10日から5月20日までの平日に甲府キャンパスおよび医学部キャンパスにて実施し、留学生を含む学生30名に生理用品一袋を手渡しました。

訪れた学生からは、「入学当初から経済的にかなり厳しかったです。」「とても助かりました。ありがとうございます。」とコメントがありました。



～令和3年度地域貢献型研究支援～

令和3年度に地域貢献型研究支援を行った山梨大学の女性研究者により開催されたイベントのご報告です。

「山梨県の学校において、いかにして女性管理職を増やすか？」

- 開催日：令和4年2月16日(水) ●開催方法：オンライン
- 主催：山梨大学教育学部比較教育学研究室
- 参加人数：学生・教職員ら36名

このイベントは、教職大学院の講義科目「教育政策の理論と実践」での学びを広く社会に還元するべく、山梨県内の学校における女性管理職の現状と課題を確認するとともに、ジェンダーに配慮した初任者教員研修プログラムを提案することを目的に開催したものです。

イベントでは「なぜ、女性管理職か？」と題し、研究プロジェクト全体の趣旨について、また「女性の管理職登用促進に向けての提言—山梨県における現状を踏まえて—」と題して県内の現状と課題について説明がありました。続いて、大学院生が仕事と生活の将来設計を考えるためのワークライフキャリアプランシートを提案し、その提案に対してイベント出席者よりご意見をいただきました。

参加者は熱心に耳を傾け、各発表後には活発な質疑応答が交わされるなど、有意義なイベントとなりました。

イベントの詳細は、報告書をご覧ください。(http://kamolabo.yamanashi.ac.jp/img/houkokusyo3.pdf)

今年度についても、本学女性研究者による地域の活性化につながる研究を支援します。



山梨大学 地域人材養成センター／男女共同参画推進室

〒400-8510 甲府市武田4-4-37 TEL: 055-220-8350 FAX: 055-220-8351 E-mail: danjo@yamanashi.ac.jp
HP: https://diver-danjo.yamanashi.ac.jp/